

つるおか

市議会

平成20年

9月定例会号
●H20.11.1発行

だより



❖目次

9月定例会の概要 提出議案と審議結果	2
平成19年度決算	4
総括質問 会派を代表して質問	6
委員会審査 付託議案を各委員会で審査	8
一般質問 市政全般について質問	10

「百姓の腕」

～たくましい農民の腕と熟練した生産技術～

撮影：田村謙士さん（家中新町在住）

撮影場所：藤島地域長沼地区

募集 「つるおか市議会だより」表紙写真
あなたの撮影した写真で、表紙を飾って
みませんか。詳しくは18頁をご覧ください。

Vol.13

十九年度決算議案、条例議案など 三十七件の議案が審議されました

九月定例会は、九月四日に開会され、市当局が二十九件、議会が八件の議案を提案しました。受理されていた請願六件については、所管の常任委員会に付託されました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会質疑などの後、議員提案の意見書を含め、それぞれ審議され、二十三日間の会期を経て、二十六日に閉会しました。

(議案・請願・意見書の内容と審議結果は三〇四頁)

市当局が二十八件の議案を上程

開会初日は、市長が決算議案三件、予算議案四件、条例議案九件、事件案件七件及び人事案件五件の計二十八件の議案を提案しました。続いて、監査委員による決算審査意見書の説明の後、各会派を代表し五人の議員が総括質問を行いました。(総括質問の内容は六〇七頁)

上程された議案については、決算議案は決算特別委員会に、予算議案は予算特別委員会に、条例議案及び事件案件は、所管の委員会に付託されました。

続いて、議第百十三号から議第百十七号の人事案件を審議し、全員賛成で同意されました。(人事案件の内容は下段)

続いて、鶴岡市議会会議規則

の一部改正について」の議案を議会が提案し、全員賛成で原案のとおり可決されました。

一般質問に 三十一人の議員が登壇

九月八日、九日、十日の三日間、市当局に対して一般質問が行われ、三十一人の議員が市政全般について質問を行いました。

決算・予算特別委員会を 開催、提案趣旨を説明

十一日に決算特別委員会が開催され、付託された決算議案等四件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託されました。続いて開催された予算特別委員会では、付託された予算議案四件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託されました。

各常任委員会で条例 決算・予算議案等を審査

十二日に総務、十六日に市民生活、十七日に厚生文教、十八日に産業建設の各常任委員会が開催されました。常任委員会で付託された条例議案及び事件案件の審査が行われ、引き続き、分科会で決算議案と予算議案の審査が行われました。(委員会審査の内容は八頁、決算特別委員会審査の内容は五頁)

総務、厚生文教、産業建設の各常任委員会では、付託されていた請願の審査が行われました。

請願の審査報告 決算・予算の分科会報告

二十五日の本会議では、意見書提出を求める請願について、各所管の常任委員長が請願審査の報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第八号、第十一号は全員賛成で採択され、第九号

第十二号、第十三号は賛成少数で不採択となりました。

本会議終了後に開催された決算特別委員会では、各分科会委員長が決算議案等の審査報告を行い、討論の後、表決の結果、賛成多数で認定及び可決されました。引き続き、予算特別委員会では各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決されました。

意見書提出議案を審査 委員長報告の後、討論・表決

議会最終日の二十六日、意見書七件を議会が提案し、議会第七号から第十三号は全員賛成で可決されました。

次に、決算特別委員長が決算議案等、各常任委員長が条例議案及び事件案件、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、討論の後、表決の結果、議第九十号から第九十三号まで及び第九十九号は賛成多数で、議第九十四号から第九十八号まで及び議第百十号から第百十二号までは全員賛成で認定及び可決されました。

また請願第十号は、厚生文教常任委員長の申し出のとおり、継続審査することとなりました。次に、追加議案として、議第百十八号を提案し、全員賛成で

可決されました。また高速交通等対策特別委員会及び拠点都市整備促進委員会の間報告が、所管の委員長より行われました。

人事案件の結果

- 鶴岡市表彰条例に基づく表彰者
- 松浦 安雄氏(東荒屋)
 - 田辺 省二氏(上畑町)
 - 高橋 一夫氏(睦町)
 - 半澤 満氏(東京都練馬区)
 - 井田 敬治氏(宝町)
 - 五十嶺 薫氏(陽光町)
 - 高橋 鶴治氏(湯野浜二丁目)
 - 中木 久弥氏(長者町)
 - 佐藤 義彰氏(三光町)
 - 鎌田 博子氏(稻生二丁目)
- 教育委員会委員
- 齋藤 英雄氏(下名川)
- 固定資産評価審査委員会委員
- 鎌田 悌治氏(布目)
 - 紺野 英徳氏(大西町)
 - 小室 由彦氏(家中新町)
 - 三浦 晃一氏(山五十川)
- 人権擁護委員候補者
- 藤田 松子氏(大山三丁目)
 - 金岡 育夫氏(羽黒町荒川)
 - 難波 道子氏(黒川)
- 情報公開・個人情報保護
審査委員会委員
- 荒澤 瑞男氏(田代)
 - 池田 徳博氏(双葉町)
 - 大沼 彰氏(陽光町)
 - 佐藤 多市氏(本町三丁目)
 - 渡部 正富氏(下名川)

市当局から提案された議案と審議結果（議第90号～議第118号）

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第 90 号	平成19年度鶴岡市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	} 認 定
議第 91 号	平成19年度鶴岡市病院事業会計決算の認定について	決算特別	
議第 92 号	平成19年度鶴岡市水道事業の欠損金の処理について	決算特別	
議第 93 号	平成19年度鶴岡市水道事業会計決算の認定について	決算特別	
議第 94 号	平成20年度鶴岡市一般会計補正予算（第2号）	予算特別	} 可 決
議第 95 号	平成20年度鶴岡市集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	予算特別	
議第 96 号	平成20年度鶴岡市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第 97 号	平成20年度鶴岡市病院事業会計補正予算（第1号）	予算特別	
議第 98 号	鶴岡市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	総 務	
議第 99 号	公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律の改正に伴う字句整理 鶴岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	総 務	}
	国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫及び中小企業金融公庫の廃止等に伴い、前職が企業職員等であった者の年次有給休暇の規定から、これらの公庫職員を除く字句整理		
議第 100 号	鶴岡市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	総 務	}
	議員の報酬の支給方法等に関する規定を他の特別職の職員に関する規定から分離し、報酬の名称を議員報酬に改めるもの。また、地方自治法の引用条項を改めるもの		
議第 101 号	山形県鶴岡市土地開発公社定款の一部変更について	総 務	}
	監事の職務の規定において引用する法律及び条項を改めるもの		
議第 102 号	鶴岡市立朝陽第一小学校改築工事請負契約の締結について	総 務	
	当該工事について佐藤工務・山口工務店・佐藤組特定建設工事共同企業体と15億5,610万円で締結するもの		} 可 決
議第 103 号	鶴岡市立朝陽第一小学校改築機械設備工事請負契約の締結について	総 務	
	当該工事について三和・松田特定建設工事共同企業体と1億5,440万2,500円で締結するもの		}
議第 104 号	鶴岡市立朝陽第一小学校改築電気設備工事請負契約の締結について	総 務	
	当該工事について荘配・大同・斎藤電気特定建設工事共同企業体と2億2,522万5,000円で締結するもの		}
議第 105 号	鶴岡市交通災害共済条例の一部改正について	市民生活	
	共済加入金が無料である者として、従前の生活保護を受けている者のほか、中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支援給付を受給している者を加えるもの		}
議第 106 号	鶴岡市リサイクルプラザ設置及び管理条例の一部改正について	市民生活	
	平成21年度からの指定管理者制度の導入に向け、指定管理者による管理、業務の範囲及び指定の手続の規定を加える等、所要の規定の整備を行うもの		}
議第 107 号	鶴岡市障害者支援センター設置及び管理条例の一部改正について	厚生文教	
	平成18年10月に施行した障害者自立支援法の経過措置により、みなし指定として継続していた更生施設事業を就労継続支援事業に移行させるもの		}
議第 108 号	鶴岡市児童館設置及び管理条例の一部改正について	厚生文教	
	平成21年度から鶴岡西部児童館を設置するもの。平成20年度をもって温海児童館を廃館とするもの。保育所保育料の改正に準じ、榑引東部児童館の使用料算定の階層区分について、所要の改正を行うもの		}
議第 109 号	指定管理者の指定について	厚生文教	
	貴船保育園の指定管理者に社会福祉法人羽黒百寿会を指定するもの		} 可 決
議第 110 号	鶴岡市下水道条例の一部改正について	産業建設	
	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律の施行により、従来の財団法人の寄附行為が定款に改められることに伴う字句整理		} 可 決
議第 111 号	鶴岡市榑引温泉入浴施設設置及び管理条例の一部改正について	産業建設	
	利用時間を午前8時から午後10時までに改めるもの		
議第 112 号	市道路線の認定及び廃止について	産業建設	}
	中清水下小中線、井岡塔の腰6号線、平京田6号線、海谷森線、上川代線、玉川3号線、手向上川代線、手向13号線、月山高原牧場線の9路線を市道路線として認定し、中清水下小中線、平京田6号線、海谷森線、上川代線、小出沢線、手向三又線、玉川3号線の7路線を廃止するもの		
議第 113 号	鶴岡市表彰条例に基づく表彰について	省 略	} 同 意
議第 114 号	鶴岡市教育委員会委員の任命について	省 略	
議第 115 号	鶴岡市固定資産評価審査委員会委員の選任について	省 略	
議第 116 号	人権擁護委員候補者の推薦について	省 略	
議第 117 号	鶴岡市情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱について	省 略	
議第 118 号	平成20年度鶴岡市介護保険特別会計補正予算（第1号）	省 略	可 決

議会が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第 6 号	鶴岡市議会会議規則の一部改正について	省 略	} 可 決
議会第 7 号	地方財政の充実・強化に向けた意見書の提出について	省 略	
議会第 8 号	「燃料・生産資材等物価高騰を打破する政策実現」に関する意見書の提出について	省 略	

議案が提案した議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第9号	過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定を求める意見書の提出について	省 略	可 決
議会第10号	中山間地域等直接支払制度の継続と拡充・強化を求める意見書の提出について	省 略	
議会第11号	学校耐震化に関する意見書の提出について	省 略	
議会第12号	北朝鮮による拉致事件の早期解決・拉致被害者の早期救出に関する意見書の提出について	省 略	
議会第13号	自然エネルギーの開発・利用を促進することを求める意見書の提出について	省 略	

請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第8号	地方財政の充実・強化に向けた意見書提出を求める請願	総 務	採 択
請願第9号	生活品の物価高騰に対する緊急対策に向けた意見書提出を求める請願	厚生文教	不採択
請願第10号	地域医療を守る意見書提出を求める請願	厚生文教	継続審査
請願第11号	「燃料・生産資材等物価高騰を打破する政策実現」に関する意見書を求める請願	産業建設	採 択
請願第12号	石油・肥料・飼料・農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書提出に関する請願	産業建設	不採択
請願第13号	原油・資材・穀物高騰から経営とくらしを守ることを求める意見書提出に関する請願	産業建設	不採択

病院事業会計決算の収益的収支では、二〇億三、四一四万四千円のは、二〇億三、四一四万四千円の赤字、資本的収支の不足額は二億四、〇九二万九千円となった。収益的支出には現金支出を伴わない費用が二四億円ほど含まれるため、

〈一般会計・特別会計決算のあらまし〉

区 分	歳 入	歳 出
一 般 会 計	596億7,721万2千円	587億6,655万2千円
特 別 会 計		
国民健康保険	137億5,522万円	131億7,837万9千円
老人保健医療	131億3,969万9千円	135億9,157万円
介護保険	110億6,424万1千円	109億6,061万3千円
公共下水道事業	85億5,333万4千円	85億4,632万8千円
集落排水事業	11億8,125万円	11億7,320万2千円
市街地再開発事業	8億4,593万7千円	8億4,593万7千円
その他7特別会計	1億8,811万2千円	1億3,822万8千円
合 計	1,084億500万5千円	1,072億80万9千円

平成十九年度各会計決算
一般会計決算では、歳入五九六億七、七二二万二千円、歳出五八七億六、六五五万二千円となり、形式収支は九億一、〇六六万円の黒字となった。対前年度比較では、歳入で六・八割、歳出で八・〇割それぞれ増加した。
特別会計決算では、歳入総額四八七億二、七九万三千円、歳出総額四八四億三、四一五万七千円で、老人保健医療特別会計を除く十二会計で収支均衡、又は黒字となっている。

〈水道事業会計決算のあらまし〉

収支	金額	収支	金額
水道事業収益	37億9,564万3千円	水道事業費用	37億5,939万2千円
・営業収益	35億2,870万8千円	・営業費用	34億2,897万円
・営業外収益	2億6,656万5千円	・営業外費用	3億2,298万9千円
・附帯事業収益	36万8千円	・附帯事業費用	12万8千円
・特別利益	2千円	・特別損失	730万5千円
資本的収入	8億5,342万1千円	資本的支出	16億5,935万1千円
・企業債	7億2,960万円	・建設改良費	5億7,588万6千円
・補助金	1億342万9千円	・企業債償還金	10億8,346万5千円
・負担金	1,672万6千円		
・他会計負担金	230万円		
・固定資産売却代金	136万6千円		

水道事業会計決算の収益的収支では、有収水量が減少しているものの、経費節減で三、六二五万一千円の純利益が生じた。資本的収支では、八億五、九三万不足したが、損益勘定留保資金等で補てんした。

〈病院事業会計決算のあらまし〉

収支	金額	収支	金額
病院事業収益	116億5,530万4千円	病院事業費用	136億8,941万8千円
・医療収益	107億5,991万円	・医療費用	118億2,486万3千円
・医療外収益	6億7,044万3千円	・医療外費用	6億6,548万1千円
・看護学校収益	7,947万6千円	・看護学校費用	7,947万6千円
・特別利益	1億4,547万5千円	・特別損失	11億1,959万8千円
資本的収入	7億5,662万1千円	資本的支出	9億9,756万円
・企業債	2億1,890万円	・建設改良費	2億2,426万6千円
・出資金	5億2,913万4千円	・企業債償還金	7億7,329万4千円
・補助金	20万2千円		
・固定資産売却代金	838万5千円		

運営資金は逆に増加した。資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金等で補てんした。

決算特別委員会審査

決算特別委員会の付託議案を
それぞれ所管の委員会に
分割付託して審議します

(審査の主なものを掲載します。)

総務 分科会

庁舎ごとの特色ある地域づくりへの支援は

委員 庁舎ごとの特色ある地域づくりのための補助金・負担金でどんな支援を行ったか。

藤島庁舎次長 町内会など非営利団体の地域活性化事業に支援しており、地域の歴史資料の収集、編集、保存、展示などが行われた。

羽黒庁舎総務課長・政策企画室長

松ヶ岡の桜祭、玉川寺の南米アン

デス伝統音楽コンサートなど、市民の自主的なまちづくり活動を支援するとともに、出羽三山に関する調査研究・講演会・シンポジウ

ム・子供俳句など、世界遺産登録に向けて地元での啓発活動を行った。

榑引庁舎次長 フルーツの里整備の果樹実態調査、グリーンツーリ

ズム推進研修会、黒川能の老朽器材の実態調査、富樫実モニユメン

ト整備、天狗舞・獅子舞等祭りを維持するための研修会に支援した。

朝日庁舎総務課長 タキタロウ祭

月山ワイン祭、産業文化祭、新そば祭、雪トピア等のイベント推進

に支援しており、交流人口の拡大に大きな効果があった。

温海庁舎支所長 そぞろ歩きを楽しむ温海温泉のまちづくりなどを

基本とし、若者がチャレンジシヨ

ップ等を開催する際の補助、羽越

しな布の振興、温海温泉街のイメ

ージアップや観光キャンペーン、

バラ園祭り開催など観光振興への

支援を行った。

企画部長 地域に広く関わるが、

今後の知識社会に対応する基盤整

備として、東北公益文科大学、先

端生命科学研究所への運営支援や

地域特性を生かした雷サミットの

開催、森林文化都市構想づくりの

研究会への支援などを行った。

市民生活 分科会

住宅用火災警報器の普及に向けた取り組みは

委員 住宅用火災警報器を共同購入した自治会もあるが、早期普及に向けた取り組み状況は。

消防本部予防課長 住宅火災から

逃げ遅れによる死傷者を防止する

ための住宅用火災警報器の設置が

平成十八年から義務化され、二十

三年五月末日までの期限となつて

いる。十九年度共同購入のモデル

として上郷地区を指定し実施した

ところ、自治振興会、自主防災会

議、消防団、婦人防火クラブのご

尽力により、安価で購入できたこ

とで六〇軒強の普及率となった。

今年度も普及率を上げるため、各

自治会等へ共同購入の推奨を図り、

設置期限を待つことなく、早期に

一〇〇軒の設置を目指して取り組

んでいく。

厚生文教 分科会

紙おむつの支給について

委員 申請してから支給されるまで時間がかかるようだが、対策は。介護サービス課長 決裁経路などを改めて検討し、できるだけ早く支給できるよう努めていきたい。

小・中学校にあるテレビの利用法と地上波デジタル放送への対応は

委員 小・中学校の学校教育におけるテレビを利用した視聴覚教育の現状と、今後の地上波デジタル放送への対応は。

学校教育課長 テレビは各教室に

一台設置されており、肉眼では見

えにくい理科の実験を観察したり、

社会科で実際に行くことが難しい

地域の状況を見たり、道徳では心

の動きや葛藤の理解を助けたりと

いったように、効果的な視聴覚教

材として活用している。

管理課長 地上波デジタル放送へ

の対応は、テレビの買い替えでは

相当の経費が必要となることから

受信機の取り付けを基本として、

年次的に整備していきたい。

産業建設 分科会

農地・水・環境保全向上対策について

委員 昨年度から実施してきたこの事業の成果と課題は。

農政課長 化学肥料・化学合成農薬の使用を大幅に減らした有機栽培・特別栽培への取り組みが、一

一三畝に及んでおり、初年度の営農活動支援は順調であった。

農山漁村振興課長 百七十一団体が共同活動へ取り組み、組織率は

全国や県内の平均を大きく上回り、七〇軒を超えている。農家の方々の高い意識が現れた結果である。

事業の結果、環境の向上に加え、集落の結びつき、コミュニティの

結束も深まった。なお、支援対象となる活動の認定にやや厳しいと思われるところが課題であったが、

一定の改善も行われている。

食育推進について

委員 その取り組みと成果は。

農政課長 昨年度、健康福祉部門、

教育部門、農林水産部門の委員か

らなる鶴岡市食育推進計画策定委

員会を発足させた。最終的には今

年度に及んだが、食育に関する市

の考え方と推進方を定めた計画

を策定したところである。

総括質問

市長の提案に対して
会派を代表して質問します

(執筆は、質問した議員本人です。)

新政クラブ

野村 廣登議員



決算を踏まえた今後の市政運営は

議員 平成十九年度決算を踏まえ、
①投資事業に係る基本的考え方、
②定員適正化計画と職員の資質向上について、③第三セクターについての考え方を伺いたい。

市長 投資事業では、十九年度に鶴二中、鼠ヶ関小の改築、総合保健福祉センターの整備、櫛引・朝日地域の高度情報通信基盤整備、二十年度は朝陽一小の改築、消防本部本庁舎の新築に着手し、二十一年度は朝陽五小、羽黒四小、藤島中等の耐震補強事業を見込んでいます。合併特例債を活用した投資的事業が本格化しているが、合併特例期間終了後の財政運営に支障が生じないよう計画的に推進する。定数適正化計画では住民ニーズの変化、財政事情などに配慮し、不断の努力で体制の見直しをはかり、職員の資質向上にも努力していく。第三セクターは、当初の目的やこれまで果たした役割、利活用の実態、社会情勢の変化等を分析、検討し、総合的に判断したい。

中心市街地活性化について

議員 活性化についての考え方は、

市長 中心市街地基本計画の事業を確実に実施するためには、官民一体の取り組みが重要であり、鶴岡市中心市街地活性化協議会が設置された。協議会と連携し、中心市街地の活性化に努力したい。

新政クラブ

上野多一郎議員



本市の防災対策は

議員 地震、集中豪雨など自然災害へ備えた、本市の防災対策は、

市長 河川等の危険箇所への安全点検に対応し、改修を要する箇所の事業促進を関係機関に強く要望する。県の浸水想定区域図等の整備に合わせ、連携してハザードマップ作成にも取り組む考えである。学校施設の耐震化としては、六棟の耐震補強事業を予算措置したが、市の重要な施策として推進する。自主防災組織については、コミュニケーションの有様が重大な課題であり、住民の皆さんと一緒に考え、必要な措置に取り組んでいきたい。防災行政無線の整備では、移動系無線の廃止やデジタル化等を念頭に再整備の基本設計を進めていく。

病院事業について

議員 荘内病院の入院、外来患者

の減少要因と患者未収金対策は、市長 入院、外来患者の減少には、外来紹介制導入の影響があるが、今後も地域医療の機能分担が進むことから、急性期医療を中心に高度かつ良質な医療を提供したい。患者の自己負担に係る過年度未収金は一億六百万円であるが、発生要因は、負担率の増大による医療費の高額化やモラルの低下などがあげられる。未収金対策として面談による分納などをお願いや、委託集金人による集金を行っている。

黎明・公明クラブ

中沢 洋議員



原油高を受けての中小企業への支援と雇用環境対策について

議員 経済状況が悪化し、冬本番を迎える市民は、生活不安を感じている。原油高騰の影響を受けている産業や中小企業への支援策は、非正規労働者の数が年々増えているが、非正規労働者の充実度、雇用の安定性、セーフティネットが不十分と考える。市長の見解は、市長 中小企業へは、国、県、市において、各種融資制度などの支援を行っている。非正規雇用については、実態の把握に努め、企業に対し改善の検討をお願いすると

ともに、国、県に対しても更なる改善を要望していきたい。

未納対策・収納率向上の取り組みは

議員 市のサービスを受けながらも、その対価を納めない市民が増加している。受益者負担の原則を推進するためにも、未納者対策、収納率向上策に一層努力すべきだが、市の取り組みは、

市長 保育料については、昨年度納付相談員の配置や保証人の設定などを行ない、今年度は新たな取り組みも行っている。国民健康保険税については、納税推進員や職員を増員して徴収体制を強化し、初期対応、納付相談などの充実に図っている。負担の公平、公正を欠くことのないよう未納対策を講じ、収納率の向上を図りたい。

日本共産党市議員

加藤 太一議員



福祉灯油の実施を急ぐべき

議員 原油高が市民生活全般に深刻な影響を及ぼしている。低所得者、障害者世帯、高齢者世帯等への灯油代支援は昨年にも増して重要であり実施を急ぐべき。高齢者施設等福祉施設への助成の考えは、市長 灯油高騰は生活への影響が

大きい、基本的に支援は国で行なうべきで、強く国に要望していく。福祉施設等への助成は、各制度による施設の報酬で賄われるもので、現段階では考えていない。

価格保障・所得保障の要求を

議員 農産物価格の下落、燃料費、エサ代などの高騰で農業経営は危機的状況である。「不足払い制度」の価格補償、所得保障を政府に要求すべき。

市長 「担い手」の経営安定対策は緊急の課題である。産地づくり交付金、稲作構造改革対策推進交付金の継続を要望していく。

学校耐震化を急げ

議員 緊急度一の小中学校の耐震改修を国の補助期間である三年以内に実施し、緊急度二以上も引き続き実施すべき。国に対して予算措置の継続も働きかけるべき。

市長 緊急度一の二十棟は、本年度から順次着手し、緊急度二以上も引き続き対処したい。国に対し補助期間延長もお願いしていく。

連合鶴岡議員団

加賀山 茂 議員



鶴岡のまちづくりについて

議員 まちづくりは、市民が成果を直接肌で感じられるものになければならない。ハード事業色の強いまちづくりから転換し、限られた事業に力を注ぐだけでなく、市の各地域に内在する力を引き出すためのソフト事業を、きめ細かく実施すべきと考えるがどうか。

市長 地域資源の分析や地域発展のための指針、政策課題について調査、検討を進める。地域の可能性を見定め、それを基盤として活力を引き出していく的確な振興策を固めていくことが重要と考える。

異常気象に伴う対応策について

議員 地震や局地的集中豪雨による被害が日本各地に生じ、これまでの危機管理基準が通用しない事例が多発している。この夏の異常気象などを踏まえた所見を伺う。

市長 市民の命を守る避難対策や地域住民との自発的な組織的活動ができるような対応、また緊急対策では消防体制も含めた緊急体制特別な対策づくりも必要と考える。建物施設等の耐震化、ライフラインの安定管理、治山治水対策の推進など防災基盤の強化、学校施設の耐震補強、危険箇所の状況把握やハザードマップ作成などを通じ安全対策を考えていく。災害発生時には対策本部を瞬時に立ち上げ、迅速的確な応急対応を致したい。

委員会の中間報告

高速交通等対策特別委員会

本委員会は、東北横断自動車道酒田線・日本海沿岸東北自動車道の建設促進、庄内空港の運航拡充及び施設整備促進、羽越本線の複線化・高速化についての調査研究を目的として設置されている。

昨年十二月に委員会の構成が変わったため、第三回委員会では正副委員長の互選を行い、第四回委員会では日沿道の進捗状況等、庄内空港・羽越本線の状況について当局より説明を受け、質疑・意見交換を行った。

日沿道は、全区間で工事を実施中であり、五つのトンネルは平成二十二年年度までに完成予定である。インターは、四箇所の建設を計画している。中期計画の動向については、計画期間を五年とし、新たな計画策定が予定されている。

庄内空港は、東京線の利用は順調だが、大阪線が伸び悩んでおり、利用促進に向けた各種事業を展開している。

羽越本線は、高速化に向け、新潟駅での同一ホーム乗り換えが、平成二十五年度の供用開始を目標に進められている。

今後とも円滑な事業の促進に向け調査・研究に努めていきたい。

拠点都市整備促進委員会

本委員会は、地方拠点都市地域の指定を受けている当市計画の推進を図るための協議を行うことを目的として設置されている。

昨年十二月に委員会の構成が変わったことから、第四回委員会では正副委員長の互選を行い、第五回委員会ではシビックコア地区整備計画、鶴岡市北部拠点地区について当局の説明を受け、質疑・意見交換を行っている。

シビックコア地区では、旧荘内病院跡地への国の第二合同庁舎誘致を核に基盤整備と周辺道路の整備を図るもので、官民一体となり中心市街地の顔づくりとなるような質の高い整備に取り組みむものである。

北部拠点地区は慶応の先端研を中核に、バイオ関連の研究機関や企業の集積を進め、若年層の定着流入、知識集約型産業の集積を図るといった、時代に対応した地域振興の受け皿としての整備を進めていくものである。

いずれも、今後、本市が魅力あるまちとして発展するための先導的役割を担うもので、円滑な事業の推進に向けて、協議、検討を重ねていきたい。

委員会審査

提案された議案を
それぞれ所管の委員会に
付託して審議します

(審査の主なものを掲載します。)

総務

常任委員会

予算特別委員会 分科会

高利率の市債残高と償還の見直し

委員 高利率の市債の残高と繰り上げ償還の状況、今後の見直しはどうか。

総務部次長 利率五割以上の市債は、平成十九年度末で十四億九千八百万円ほどとなっている。繰り上げ償還は、十九年度に約二億三千九百万円行い、今回が約三億六千七百万円行うもので、来年度は約六億円の見込みである。また、これらの効果として、利子が約一億二千万円軽減されると見込んでいる。

市民生活

常任委員会

予算特別委員会 分科会

大災害発生時の孤立集落数と通信手段の対策は

委員 大災害発生時に孤立する集落は何箇所か。その際の通信手段を確保する対策は。

危機管理課長 県の基準に基づく調査では、孤立が予測される集落は四十五箇所である。その際の通信手段として、温海地域では移動

系の防災行政無線を平成十七年度に増設した。また朝日地域では、

防災行政無線の送受信のためアンテナを高く設置して備えているほか、日本電信電話(株)の孤立集落無線を残している箇所がある。先の岩手宮城内陸地震で防災行政無線の中継局が被害を受けたことから、全国的に衛星携帯無線を配備する動きもみられるが、維持管理費用の問題もあり、今後も調査研究を進めていきたい。

厚生文教

常任委員会

予算特別委員会 分科会

自動車文庫の新車両について

委員 新たな車両は、現在と比較してどのようなものか。また今後の導入スケジュールは。

図書館長 現在の移動図書館車は平成二年に旧鶴岡市で導入されたもので、老朽化が進んでいる。新たな車両の仕様は、四輪駆動の三トントラックをマイクロバス型に改造し、図書を約三千冊収容するもので、現在の車両と同程度のものを想定している。特殊車両のため、改造に五か月以上かかることから、議決後に契約し、二十一年三月末に納車の見込みである。

産業建設

常任委員会

予算特別委員会 分科会

加茂水族館への支援について

委員 オットセイを購入するに至った経緯と加茂水族館への支援の考え方は。

観光物産課長 加茂水族館のアシカが近年相次いで死亡し、現在シヨールができるアシカが一頭のみとなっており、ファミリー層に人気のあるシヨールを続けるために補充が必要とされていた。アシカ自体は輸入が難しいことから、国内でシヨールの実績があるアシカ目のオットセイ二頭を購入することとしたものである。また、加茂水族館



現在の移動図書館車「やまびこ号」

は鶴岡市開発公社が指定管理者として運営しているが、入館料や売店の売り上げなどの収入で、人件費や維持管理費など全ての経費が賄われており、黒字運営である。このため、市は維持管理などにかかる経費支援は行ってこなかったが、指定管理にかかる管理運営基準では、大規模な改修などに際して、指定管理者側と相談しながら費用負担を決めることとされており、今回のオットセイについては市で購入することとしたものである。



アシカシヨールで人気の「ゆず」ちゃん

農業用水路の雨水対策は

委員 排水路を兼ねている農業用水路は、豪雨で周辺河川が増水すると逆流し、浸水被害が生じている。雨水対策が必要ではないか。

農林水産部長 これまでのところ、その対策の要望を受けていないが、河川管理者にも関連する新たな課題であり、今後いろいろな角度から検討していきたい。

討 論

表決の前に提案された
議案に対して賛成か
反対かの意見を表明します

反対

**国の政策に追従する施策の
抜本的見直しを求める**

日本共産党市議団を代表し、一般会計、国民健康保険・介護保険両特別会計の決算について、反対の討論を行う。

国の構造改革は増税と医療・介護・福祉の改悪など国民負担増をもたらし、国の政策を追従した施策展開が大きく問われている。先端生命科学研究所への支援では、いまだに支出に見合う産業振興と雇用拡大の見通しがなく、今後も際限なく支援する考えが示された。余りにも過大な支出は見直し、市民の暮らしの支援に充てるべきで

ある。保育園の民営化は市の支出削減が至上目的で、保育サービスの充実も期待できない。米価の落ち込みと原油高の影響で農家は深刻な危機に直面しており、国に追従する本市農業施策の抜本的転換を求める。

高すぎる保険料に苦しむ国保加入者の実態に目を向け、国の財政支援と市の一般財源からの支出強化を求める。介護保険では、介護予防サービスの導入と引き換えに、要介護度が低い方のサービス縮小が行われた。施設整備も遅れており、必要なサービスを提供する立場に立つべきである。

反対

**行政と市民の真のパートナー
シップを築く大変革を求める**

反対の立場で討論する。

先端生命科学研究所に対する補助金に関して、バイオベンチャー企業の誘致などで、平成二十年には四十社の創業と一千人の新規雇用を創出するとした本市の地域再生計画があるが、いまだに実現の見通しも示されず、市税投入が適切か問題である。また研究所の間運営費十一億二千万円のうち、七五割の八億四千万円が県や市の補助金と基金の運用益によるものであり、まるで「公設公営」の研究所といつてもいい状況である。

支援が必要なのはむしろ、この地域の資源に密着した新エネルギー、バイオマスを始めとした内発的な経済を育む可能性のある研究ではないか。

開かれた市政、住民参加について、総合計画の審議会では公募委員もおらず、審議が行政主導で形骸化しているという声もあるが、改善されていない。

人口減少と財政難の中で持続可能な自治体経営を進めるには、行政と市民が真のパートナーシップを築くことが必要であり、真に希望に満ちた持続可能なまち鶴岡を実現するための大変革を求める。

賛成

**地域の状況を把握し、将来を
見据えた施策推進を評価する**

新政クラブを代表し、賛成の立場で討論を行う。

平成十九年度の財政状況は、財政健全化法の早期健全化基準にも当てはまらず、堅調に推移していると認められる。地方の自主性を助長する方向へ国の政策も変わりつつある中、副市長二人制や企画部の新設など、将来の権限移譲を見据えた組織改革は的を得たものである。国際的にも評価され、成果を収めている先端生命科学研究所の研究活動への支援は、誰ももが認めるところである。研究機関

の知的基盤を生かして競争力のある未来型産業の集積を図り、若年層の定着や流入を促進することは、本市の長期的な地域戦略として大変重要である。農業を始めとする産業の振興や、保健、福祉、医療のサービス提供に向けては、地域経済や市民の状況をよく把握し、国の動向に対して適切な対応に努め、各種施策や事業を計画的に推進してきたものと判断する。

今後も行財政運営の厳しい状況が予測され、財源の確保と重点かつ効率的な配分を図り、都市機能の集積と魅力ある地域づくりに努められることを望み、賛成する。

賛成

**激動の時代に行政の
賢明な舵取りを期待する**

黎明・公明クラブを代表し、賛成の立場で討論する。

本市財政は、厳しい経済環境下において、財政健全化法の基準に照らしも堅調に推移していると認定する。少子高齢化とグローバル化の進行によって人口構成が変化する中で、地方都市の最も重要な施策は、新産業の育成強化を通じて若者の流入を誘引する政策を選択し、そこに投資を集めることによつて、地域活性化の実を上げることである。先端生命科学研究所等の支援では、世界

的に顕著な成果を上げる基礎研究を土台に、優良企業との共同研究が産業界へ多大な影響を及ぼし始めており、人的交流を通じてもたらされる今後の経済波及効果は計り知れないと確信する。副市長二人制は、今後の森林文化都市構想を具体化する事業展開にあつて、各課、各庁舎を横断的に指揮し、迅速に決裁する機能が必要であり、その役割に期待する。

急激な社会経済の変化の時代に突入し、市民一丸となつて激動の時代を生き抜かねばならない。市当局の賢明な舵取りに期待し、賛成する。

一般質問

市政全般について市当局に
考え方や方針などを
質問します

(総括質問を行った議員を除く29人の質問を掲載し、執筆は質問をした議員本人です。)



芳賀 誠
議員

鶴岡市中心市街地活性化基本計画について

議員 市町村が策定したまちづくり基本計画の中で意欲的な取り組み、やる気のある自治体だけを選択、認定、支援するという国の方針に基づき、県内では初めて認定を受け、中心市街地の賑わい創出に向けて動き出した。本市計画のコンセプト、ポイント、今後の展開についてお尋ねする。

商工観光部長 基本計画の概要は、計画期間が平成二十年七月から二十五年三月までの約五年間、区域は鶴岡駅周辺から中心商店街、荘内病院や市役所を中心とした官公庁街、鶴岡公園を含めた一四二〇を想定している。

まちづくりの基本方針は、住み暮らし、活動する場としての中心市街地を全体テーマとし、中心市街地それぞれの地域特性を生かし、快適性、利便性を考慮しながら都市機能の集約を継続し、市民、企業、行政が連携してまちづくりを推進するものである。今後五年間の目標として、

交流拡大、中心商店街活性化、まちなか居住の環境づくりを掲げている。このたびの基本計画では、目標達成状況が的確に把握できる数値目標の設定が義務化され、フオローアップシステムや個別事業の成果について検証する仕組みが取り込まれている。



富樫 正毅
議員

県立鶴岡病院の移転の影響は

議員 鶴岡病院は平成二十四年度の移転新病院開設に向け、準備が進められている。先進的かつモデル的な精神医療を目指し、精神科救急医療や急増するうつ病や引きこもり、思春期の心の問題などに対応する診療体制、児童思春期の患者専用病床や、刑事事件を起こした精神障害者の入院治療用の医療観察病棟新

設などの計画があると聞く。従来の機能と大きく変容することで、退院を余儀なくされる患者さんが出てくると思われるが、対策をどのように講じるのか。



移転予定の県立鶴岡病院

健康福祉部長 開院までの四年間退院促進が必要な方は数千人規模になると見込んでいる。退院できるにもかかわらず、受け入れ条件が整わないというところで入院を余儀なくされている精神障害者の地域での生活を推進するために、県が実施する精神障害者地域移行支援特別対策事業のモデル地域となっている。庄内保健所、精神科病院、市町村、相談支援事業者、福祉サービスやグループホームの事業者、障害者就労生活支援センター、家族会などで構成する地域移行支援協議会を立ち上げ、障害者情報の共有、関係機関調整、社会資源調査などを行うこととし

ている。本人、家族、地域が安心して地域生活に移行できるように配慮してまいりたい。



秋葉 雄
議員

女性総合カウンセリング窓口の設置について

議員 マリカ東館に女性総合カウンセリング窓口を設置してはどうか。あるいは総合保健福祉センター(仮称)内に総合相談窓口の機能を分担してはどうか。市民部長 マリカのまんまらムでは、家庭児童相談や子育て支援など、女性に関わる様々な相談を受けている。総合相談室でも女性相談員を配置して庁内福祉部門と一緒に相談し、専門機関等との連携も図っているが、女性が相談しやすい環境づくり、機能分担など、なお検討したい。

生活保護世帯の就労支援を

議員 生活保護事業においては、自立して生活を営めるように環境を整え、就労を支援することが本来のあり方と思う。被保護世帯の方々が、自らの生活費を稼ぎ出す努力を後押しする行政側の対応が必要と考えるが、今後の方向性を伺いたい。

健康福祉部長 市では、平成十七年度から生活保護受給者等就労支援事業、十八年度からは社会参加活動支援プログラムとして取り組んでいる。就労支援事業は、希望事項などを県經由でハローワークに送付し、就職に向けた指導を行うものだが、今後このような支援事業を継続的に行うほか、就労支援に特化した体制の強化を検討したい。



川上 隆
議員

民生児童委員への支援策は

議員 最近、民生児童委員の一人当たりの活動実績が、年を追うごとに増え続けている。特別な公務として、わずかな活動費で尽力している民生児童委員に対し、市では今後どのような支援策を考えているのか。

健康福祉部長 民生委員業務は日増しに複雑多様化するとともに、業務量も増大している。市としても業務内容などを検証しながら、できるだけ相談支援に専念できるように配慮したい。また支援が必要な方々を地域ぐるみで支えていく体制づくりを進める中で、民生委員の方々の

活動環境を整えていきたい。

人事院勧告への対応について

議員 今年の人事院勧告では、勤務時間に対し改定勧告が行われたが、本市への影響はどうか。総務部長 勧告どおり勤務時間を短縮しても、休憩時間及び休息時間の見直しにより、現在の開庁時間を変更せず、これまでと同様の行政サービスを提供できる。また人件費などのコストについても影響は無いと考える。議員 本市職員の人件費削減等への対応について、市の考えは。総務部長 職員人件費の削減は重要課題だが、能力の高い職員の育成と結集を図り、地方分権の受け皿となる基礎自治体としての基盤強化を図っていきたい。



議員 関 徹

木質バイオマス活用、住宅祝い金制度で林業と地域経済振興を

議員 林業振興と地域経済振興のために、①ペレットを始めとする木質バイオマス活用を、地球温暖化対策、林業と関連産業振興の課題と位置づけ、消費拡大とそれに必要な供給体制確立など、総合的構想、目標、具体

策を持つて取り組んではどうか。

②公共施設新設・改修時にペレットボイラー・ストーブ導入を。また、民間での導入に補助制度を設けてはどうか。③地場産材で地元業者を使って建築する住宅への支援制度は、関係者の要望が高く、他の自治体でも効果が実証されている。「祝い金制度」を創設してはどうか。農林水産部長 木質バイオマスの活用は、本市森林資源の活用、地球温暖化対策、二酸化炭素吸収源としても有効である。間伐材など未利用の木質資源の活用について、研究、検討を進め課題を整理し、議論していきたい。公共施設への導入は、モデル的導入として検討したい。民間への補助制度は、今後検討したい。祝い金制度の創設は、現時点では考えていないが、一般住宅での地域産材及び地元業者による建築促進は、林業及び住宅関連産業の活性化を図る上で重要な課題と認識している。関係者の意見を聞きながら促進する方法を検討したい。



議員 三浦 幸雄

雇用促進住宅廃止から入居者を守れ

議員 雇用促進住宅の入居者に本年五月、雇用能力開発機構から「新規入居・契約更新を中止し、退去が終われば廃止する」という文書が配布され、入居者から「納得がいかない」という声が上がっている。市の住宅政策に関わる問題ではないか。自治体への売却も進められているようだが、言いなりにならず、入居者の立場で対応を。



雇用促進住宅廃止への対応は

商工観光部長 新規入居を停止していることから、現在二カ所で四十九世帯・百五十名の入居となっている。開発機構に対して、早期の説明会開催などの配慮を要請していく。売却受け入れは関係各課で慎重に検討する。多重債務解決の取り組み強化を議員 相談窓口で、「弁護士等への紹介」だけでなく、十分な

状況聴取・記録を行ない弁護士等に引き継ぐなどの対応の改善や、広報の強化、庁内連携の強化が必要では。先進地では多重債務者の生活再建と滞納市税解決で大きな成果もあがっている。市民部長 広報周知したところ、多くの多重債務相談で、過払い金の返還に結びついており、納税相談や福祉生活相談にも庁内や弁護士会等と連携し対応している。今後も、相談会の開催や庁内の連携強化に努めたい。



議員 寒河江俊一

「不登校」鶴岡の子供たちは

議員 昨年度、病気や経済的理由以外で年三十日以上欠席した児童生徒数は、県で千五百名だが、教育相談員やスクールカウンセラーを配置し半減を目指す中で、二年連続の千人越えは深刻な状況と言える。本市の不登校の現状と分析、対応策は。教育長 平成十九年度の本市の不登校児童生徒数は、小学校十七名、中学校九十九名である。きっかけは、本人に関わる問題、病気がち、友人関係、学業不振、親子関係など多様である。不登校は思春期の中学生に多く、未

然防止対策として、職員一人ひとりが児童生徒の理解に努め、学校組織として相談体制を整備し、中学校にはスクールカウンセラーや教育相談員を配置、小学校においてもカウンセラーによる巡回相談を行っている。特別室登校の児童生徒は小学校二名、中学校十六名で、ひきこもり傾向にある子供たちへは、訪問指導員による家庭訪問を行い、学校復帰にむけて支援している。

羽黒山ファンタジー山楽祭について

議員 丑年御縁年に当たる来年度の山楽祭の開催は。



羽黒山ファンタジー「山楽祭」

商工観光部長 新たな文化の創造と観光振興を目的に、新潟DCなども見据え、開催時期や開催場所について実行委員会などと協議し、検討したい。

*DC：デスティネーションキャンペーン。JRや観光関係者と市町村が協力して実施する大型観光キャンペーン



岡村 正博
議員

農業用水路の管理について

議員 大山地域では、以前農業用として整備し、現在は下水道として使用している水路について、害虫の発生や悪臭による居住環境の低下が問題となつている。管理についての市の考えは、建設部長 管理者のいない水路については、市による管理の引き継ぎや個人への払い下げなど、状況に応じて対応したい。

議員 友江地区の農業用排水路は工場と住宅の間を流れているが、側面が削り取られ、建物の基礎への影響が懸念される。早急な手だてが必要だが、対応は、農林水産部長 地元の管理組合や庄内赤川土地改良区に申し入れを行い、受益者負担、市の支援も考えながら協議を進めたい。

上池周辺へのトイレ整備は

議員 上池周辺へのトイレ整備について、市の考えは、

商工観光部長 今年の秋には、上池、下池のラムサール条約の登録が見込まれ、これまで以上に多くの来訪者が想定されることから、トイレ整備の手法も含め、検討を進めたい。

め、検討を進めたい。

駐車場の整備について

議員 大公園の駐車場整備について、市の考えは、

建設部長 駐車場の舗装の整備については、今後の利用状況などを見ながら検討したい。



吉田 義彦
議員

地方港湾の維持管理について

議員 本市の地方港湾は、県港湾事務所でも浚渫等の維持管理ができない状況にある。漁業者も船舶の航海や安全、船揚げ作業に支障を来しており、早急な解決を求めるものだが、市の見解は、

建設部長 本市が有している山形県管理の港湾は、加茂港と鼠ヶ関港である。県では、浚渫した枯葉の処理を、市のごみ焼却施設で焼却処理していたが、塩分を含有しているために少量しか処理できず、費用がかかる割に、なかなか処理がはかどらないことから、平成十九年度で焼却処理を中止した。現在は、各港にたい積しながら、対応を検討しているところである。浚渫土砂の処理については、十九年

度

に鼠ヶ関港の浚渫土砂の海洋投棄を申請したが、環境省の許可を得ることができなかったと伺っている。本年七月に行われた加茂港の浚渫土砂も、海洋投棄の許可を受ける見込みが立たないことから、急きよ陸揚げできない状況である。海洋投棄ができない現状を踏まえると、浚渫土砂の処理は地方港湾全体の問題であることから、ほかの処分方法を検討していただくように、国、県に対して強く要望していききたい。また、解決に向けて、県当局と一緒に努めていき



佐藤 博幸
議員

バリアフリーのまちづくりを

議員 平成十八年に施行されたバリアフリー新法の目的である社会全体のバリアフリーの促進は、時代の要請である。本市においても「バリアフリー基本構想」を策定し、「中心市街地活性化基本計画」と連動して、まちづくりを一体的、段階的に整備していく考えはないか。

建設部長 中心市街地活性化基本計画区域の整備事業については、福祉環境整備要綱、県条例

新法などを遵守してバリアフリーのまちづくりを一層進めていきたい。基本構想については、関係部署との協議や、今後の状況を十分見極めながら、研究していきたい。



中心市街地活性化基本計画と連動したバリアフリーの促進を

「総合計画」推進の原動力は

議員 現在審議中の新総合計画に共通する少子高齢化、過疎化、地域コミュニティの衰退などの課題解決を推進する原動力は、市民との連携、協働のまちづくりではないかと考えるが、当局の見解は、

企画部長 市民と行政が相互に信頼を深めながら、まちづくりの方向性を共有して連携、協調していくことは重要と認識している。計画の推進という観点から、ボランティア、NPOなどとの情報共有の仕組み、協働の

ルールづくりなどについての検討を計画に位置づけている。



佐藤 聡
議員

農業用ペレットストーブについて

議員 ビニールハウス暖房用のペレットストーブが実用化され、石油高騰対策として注目されている。導入農家に対する市の支援策は、

農林水産部長 ペレットストーブは、暖房経費が三割から六割削減でき、施設園芸農家の経営安定に資するものと評価している。現在、県の園芸担い手チャレンジプラン支援事業に申請し、採択に向けて手続きをしている。市としては国、県の支援をどう補完するか検討している。

カーボンオフセットを利用した森林保全について

議員 カーボンオフセットとは、「排出量に見合った温暖化ガス削減活動に投資する事などにより、排出される温室効果ガスを埋め合わせる」仕組みであり、この資金を使って、各地で森林保全の取り組みが始まっている。市内の森林保全にこの資金を積極的に取り込む、そのための受

け皿を整えるべきと思うが、市の考えは。

農林水産部長 荒廃森林の管理は緊急の課題である。カーボンオフセットには、地球温暖化対策に貢献する新たな手法として期待を寄せている。温暖化防止に対する全体の方向性を踏まえ、先進事例を参考にしながら受け皿としての課題を研究したい。



今野 良和
議員

より実効性のある介護保険計画を

議員 本市第三期介護保険事業計画における数値目標の達成状況について伺う。また、高齢化が一層進むなか、より実効性のある対策を立てる必要があると考えるが、次期計画策定にあたっての基本的な考え方は。

健康福祉部長 今年度まで三年の第三次計画の実施状況は、要介護等認定者数、介護保険給付費とも計画の数値より上回り、かつ増加傾向で推移している。施設整備計画では、特別養護老人ホームは四施設で八十四床の増床、小規模多機能型居宅介護事業所は四施設が開所し、計画に沿った整備が図られている。次期計画では、実効性のある介

護予防体制の確立、地域密着型の施設サービスの充実など、本市の実情、課題など独自の視点で検討し計画策定していきたい。議員 特別養護老人ホーム待機者解消対策に、どのように取り組んでいく考えか。

健康福祉部長 本市の特養ホームは九施設で入所定員は七百人であるが、入所申込みは九百四十人で依然として多い状況である。今後の取り組みとしては、要介護度に応じた適切なサービスの提供を基本に、エリアに配慮しながら、小規模多機能施設などの地域密着型サービスを充実させることも含めて、具体的に検討していきたい。



安野 良明
議員

放課後子ども教室の充実を

議員 放課後子どもプランの子ども教室・児童クラブの役割と今後の取り組みは。また、建設予定の鶴岡西部児童館の事業内容、放課後児童対策は。

教育長 子どもプランは、学び、体験の場としての放課後子ども教室推進事業と、留守家庭児童に生活、遊びの場を提供する放課後児童健全育成事業からなる。

子ども教室は各地域に委託し、地域の実態に沿った事業ができるよう連携を密にしたい。課題であるコデイネーターの配置は、教育委員会がその機能を果たせるよう支援し、ニーズに応じたプランの実施を目指したい。

健康福祉部長 朝暁六小校内に建設予定の鶴岡西部児童館では、自由来館を基本とし、就学前の親子の子育て広場、世代間交流、体験活動としての児童健全育成事業のほか、放課後児童クラブも予定している。開設時間、対象児童など詳細は、地元関係者の意見を伺い検討していきたい。

中小企業の支援策は

議員 経営状況の厳しい中小企業への支援・雇用対策は。商工観光部長 金融対策における各種制度を設け、国の経済対策と連携して経営の円滑化、健全化に努める。また、中心市街地活性化基本計画に基づき地元商業の活性化を図る。



山中 昭男
議員

学校統廃合について

議員 少子化が進み、小規模化が進んでいる。本市の学校統廃

合の取り組みと計画、適正配置への見解、課題について伺う。

教育長 本市児童数は、現在七千八百人だが、四年後には七千人を割り、百人未満の学校も十六校から十九校になる。今年度校長会の協力を得て、小規模校の運営に関する調査研究に取り組んでいる。適正配置については、通学時間、規模、地域との関わり等が重要であり、有識者による審議会を設置し、幅広く検討し今後の方向を定めたい。

保育料滞納について

議員 昨年九月議会で保育料滞納が一億円もあることを質したが、その後の徴収対策では、どのような成果と結果であったか。健康福祉部長 昨年十二月に納付相談員を配置し、納税課と連携して家庭訪問などの指導や差し押さえなど滞納処分を行った。入園・更新手続の際、保証人を設定した納付誓約書を提出したなどなどの取り組みもあり、長期未納者が分割納付に応じるなど効果が現れ、現年度、過年度とも収納率が向上したが、滞納総額は昨年より千九十七万円増加している。他市の事例も参考に、新たな取り組みを模索しており、これまで以上に厳正に対処していきたい。



加藤 義勝
議員

市総合計画の策定について

議員 合併以来、間もなく三年となり、総合計画の素案がまとめられたが、合併協議過程で論議された新市建設事業は総合計画にどう反映されるのか。また、建設事業の見直しはあるのか。



事業の検討が行われた総合計画審議会

企画部長 建設計画の主要事業は基本的に総合計画に引き継がれるが、地域の現状や課題に照らし緊急性の高いものは、建設計画の枠にとらわれず、総合計画に取り上げていく。建設計画の主要事業見直しは、状況の変化や事業の優先度を踏まえ、必要に応じて行いたい。

内水面漁業・養殖漁業の振興について

議員 県の財政窮乏により稚魚の買い上げ数が減少し、ふ化施設運営やサケ、サクラマス等のふ化放流増殖事業は厳しい状況である。市でも支援の強化に努め、海面漁業を支えるふ化放流事業の評価を高めるべきではないか。農林水産部長 県では、サケのふ化事業を縮小し、サクラマスの資源増殖事業への取り組みを進めているが、サクラマスとの中間育成のため、二団体でサケのふ化場を取り止めたことから、サケ資源の減少が懸念され今後の課題となっている。一定の稚魚の買い上げを維持できるように県に要望するとともに、市でも支援策を検討したい。



本間 信一
議員

青果物のセーフティネットの再構築について

議員 「離農して何に生きゆくすべあらん 甘藷安けれど今日も甘藷掘る」のように、天候次第で豊凶が決まり、輸入の多寡等により価格が大きく左右される。豊作貧乏と言われても農をやめる訳にはいかない本市のセ

ーフティネットへの取り組みは、

農林水産部長 価格安定事業として、国、県、旧羽黒町の制度がある。県の事業は、基金協会の財政が厳しく、生産者の負担が増え、申し込みが三〇割ほど減っている。JA庄内たがわでは独自の青果物価格補償制度の創設準備会を立ち上げたい旨を聞いている。市としては、両農協と内容等協議していく。議員 県の事業は、①七割しか補償されない、②生産者負担が三割と高い、③最低補償基準があり、暴落時対応できない等セーフティネットの役割を果たしていないのではないかと。農林水産部長 国、県の制度の問題点には、改善を強く要望したい。

畜産振興対策について

議員 畜産振興等行政と生産者が一体となった振興策の組織化が必要ではないか。農林水産部長 全市に組織化は必要と考えるが、農協等関係機関の意見を聞きながら検討する。



佐藤 征勝
議員

森林文化都市の創造を目指す

議員 新市が求める森林文化は、古きよきものを継承し、誰もが恩恵を享受でき、市全体の中で交流できる新たな文化的関係を創出することが課題であると考ええる。森林の位置づけと役割について伺う。



様々な自然体験が可能な大鳥自然の家

企画部長 森林の恵みを活用し、本町の豊かさを実感できる地域社会実現のため、市民が森林を意識し、触れ合っていたくことが重要であり、良い子が育つ環境づくりをテーマに、大鳥自然の家を活用した体験プログラムの開発など調査検討を進める。

小規模作業道の開設は重要

議員 広葉樹の活用による特用林産物の振興策、中山間地域の活性化には作業道の整備が必要と思われるが見解を伺う。

農林水産部長 広葉樹林活用の

基盤施設と捉え、事業目的や作業道の構造、支援のあり方の制度内容について地域庁舎と協議し、事業化へ向け検討している。

小水力発電機の一般家庭導入は

議員 自然エネルギーを熱源とする小型発電装置が今注目を集めている。活用と推進を伺う。企画部長 水力発電は、朝日地域の地域振興プロジェクトの一つに掲げている。地球温暖化対策としても有効で、今後先進事例などの調査を進める。



渋谷 耕一
議員

市所有のバスの活用について

議員 子供育成活動に伴う児童の送迎は、団体の役員や保護者がボランティアで行っているが、多大な経費がかかるとともに、車の借り上げにも苦慮している実態がある。市所有のバスを利活用することはできないのか。教育次長 市所有のバスには、福祉バス・庁用マイクロバス・スクールバスがある。それぞれ行政目的のために運行しており、全市を対象とする一体的な運行調整は負担が多く困難である。ただ、地域のスクールバスの運

行については、一定の規制は設けているものの、柔軟に対処している場合もあり、今後、現状調査を行い、対応を検討する。

「水焔の能」の今後の企画について

議員 「水焔の能」イベントは担い手も育ち、地区も賑わい、発展、地域再生が期待される。黒川、春日の森の地元開催で、業務委託料の縮小なども期待されるが、入場料の考え方、公園整備も含めて発展的改善の企画を考えてはどうか。



水焔の能の今後の展開は

商工観光部長 水焔の能も二十五回を終え、開催場所、入場料企画内容を含め抜本的に発展的に考える時期にある。場所については黒川能の上、下座、保存会の関係者、地域の方々より意見を伺い、経費等について精査

をし、方向性を検討していく。



鈴木 武夫
議員

農業資材高騰対策を速やかに

議員 燃料、肥料、諸資材価格の高騰は、農業者にとって深刻な状況だ。市、また農業委員会としての考え方は。

農林水産部長 国、県と連動して支援するほか、省エネ農業機械の導入、共同化の推進と、コスト低減の施肥体系・栽培体系の確立を図っていく。

農業委員会会長 農業、畜産の経営安定のため、燃料、飼料、肥料等の資材高騰に対する支援策の要望など国に建議していく。

消防団について

議員 四月一日より鶴岡市消防団としてスタートした。団員の法被、ポンプ庫の表示を統一すべきではないか。また、小型動力ポンプ積載車の配備計画は。

消防長 法被は団員の象徴で大変重要だが、多額の経費を要するため、年次計画的に整備を図る。ポンプ庫の表示は、消防車両の表示も含め、計画的に取り組む。積載車は配備状況等も考慮し、年次計画的に配備を図る。

ドッグラン施設の設置を

議員 愛犬家の増加によりドッグラン施設（綱を外して犬を走らせ運動させる施設）の設置を求める声がある。市の考え方は。健康福祉部長 市近郊に民営のドッグランが開設されており、その利用状況等を見守っていく。



五十嵐 一
議員

新たな鶴岡ブランドの確立を

議員 本市には全国有数の食料生産地として優れた農林水産物がある。それらを先導品目とし、さらなるブランド戦略と、新たな鶴岡ブランドの確立、創出への取り組みについて伺う。

農林水産部長 本市には優れた特産物が数多くあり、それに続く特産物の振興、販売拡大は重要な課題と認識している。ブランドの確立には、本市農産物が安全、安心でおいしいことを広く消費者に認知してもらい、品質を確保し、信頼性を高めることが重要と考える。農業を単なる一次産業ではなく、農産物の生産加工販売や、観光サービスなどを含めた総合産業としてとらえ、地域を挙げて取り組むこ

とが、新たな鶴岡ブランドの確立、創出につながるかと考える。

漁業対策について

議員 原油高はあらゆる産業に経営の悪化をもたらしている。漁業者に対する緊急支援対策の実態と、市の取り組みを伺う。

農林水産部長 国の燃油高騰水産業緊急対策にある四つの措置のうち、省燃油実証事業に取り組み、支援を受ける方法で協議をしている。今後、県漁協と漁業者の協議結果を踏まえ、国、県の支援策を基本にしなが、市としてどのような支援が可能なのか検討したい。



本間 新兵衛
議員

新市の観光案内標識の統一化を

議員 市民や多くの観光客にとって分かり易く、統一性のある観光案内標識の設置が必要であると考えるがどうか。

商工観光部長 今後、全市的に統一性を持った標識の作成に関する指針作りについて、観光関係職員、観光団体、関係機関などと研究、検討を進めたい。

庄内産業振興センターについて

議員 新規産業の創出や企業立地及び既存企業の振興のため、産業振興センターの役割は重要になっていると考えるがどうか。商工観光部長 今年度マリカ東館三階産業振興センターの拡張整備を行い、地域企業活性化事業を充実させる。商工会議所や商工会との連携を深め、効果的な事業支援活動に取り組みたい。



産業振興センターの企業家育成施設

地産地消給食の推進を

議員 児童生徒の地域食文化への理解、食に対する安全や安心の向上、地域農水産業や食品関連産業の活性化に繋がると考えるが、拡大に向けた取り組みは。教育長 学校給食の地場産食材の使用割合をさらに高めるため、生産者の方々との連携を図り、安定供給に向けた納品システムを構築する必要がある。食育計

画の中で、平成二十四年度までの数値目標である一〇割増に向け取り組んでいく。



佐藤 信雄
議員

工業団地の土地分譲事業の現状と課題について

議員 本市工業団地の未分譲地の現状と、進出企業への優遇措置など販売完了への対策は。

商工観光部長 現在本市及び公社等関係団体が所有する工業団地は、鶴岡大山・藤島南・庄内南・庄内朝日の四団地で、合計十五・六畝の用地が未分譲となっている。市独自の誘致対策が必要であり、この度の用地取得助成金制度は、二千平方メートル以上の用地取得に対し、価格の二〇割を助成し用地取得を促すものである。分譲価格の見直しも三年の限定で実施し、本市ならではの優位性を積極的にPRしながら、若者の地元定着や雇用の安定を図ることを目的に企業導入を進めたい。

本庁舎に郵便局窓口の設置を

議員 本庁舎内に郵便局業務窓口及びATMの設置を図り、市民サービスや利便性の向上に努

めてはどうか。

総務部長 本庁舎をはじめとする各庁舎の利用については、毎年度の組織機構の見直しに合わせ、市民の利便性や効率的な業務執行を図る観点からも、適正配置に努めているが、郵便局窓口は民間事業であるので研究課題としたい。ATM設置については、郵便局の意向も踏まえて対応を検討したい。



高橋 徳雄
議員

鶴岡、藤島間道路の整備促進を

議員 鶴岡、藤島間道路の整備促進をはかるため、期成同盟会が結成され、国、県に要望書を提出するなどの運動が展開されているが、実現の見通しは立っていない。この道路は、朝夕の通勤、通学の交通混雑の緩和、庄内空港アクセス道路、日沿道と東北横断自動車道を結ぶアクセス道路として大きな役割を持つている。また三川橋や蛾眉橋は建設後数十年の歳月が過ぎていくことから、大地震の際の救急対応のためにも、強固な新しい橋が必要と考える。藤島地域の住民はもとより、庄内町や最上郡の人々も整備を望んでいるが、実現の可能性は。

るが、実現の可能性は。

建設部長 現在までに、鶴岡と藤島を結ぶ国道345号と国道112号の大宝寺交差点の改良が行われ、朝夕の交通渋滞の改善など、アクセス性の向上が図られており、このことは期成同盟会活動の一定の成果と考えている。当該道路に接続する国道112号北改良も工事が大きく進捗し、平成二十三年度には供用が開始される予定となっている。引き続き、藤島から鶴岡へのアクセス性の向上、日沿道と新庄、酒田道路を結ぶ高速道路ネットワークの補完を目的とする当該道路の整備については、早急な整備がなされるよう国、県に対し強く要望していききたい。



佐藤 文一
議員

災害時の高齢者対策について

議員 近ごろ高齢者が、地震や風水害などの災害に遭われることが多くなっている。一度災害が発生すると、心身が衰えている高齢者が犠牲になる率は非常に高く、高齢ゆえのさまざまな要因が重なり、悲劇が起きると言われている。自然災害が発生したとき、誰が責任を持って高

齢者を避難誘導するのは、災害時に最も大きなことである。一人暮らし高齢者らが常に近隣から関心を持たれているような地域システムの構築が不可欠である。災害時要援護者支援も含め、互いに信頼感のある第三者も交えた多面的なチエックが何よりの防災だと思いが、市の考えは。



地域で自主防災活動の共有を
(総合防災訓練)

市民部長 災害初期で消防、行政の救助や支援が行き届かない時など、地域コミュニティの果たす役割は大きく、日常的な地域での関わりが災害時に生きてくるものと考えている。市関係部局が連携し、高齢者等の名簿作成などの課題整理や、避難支援プラン作成等を進めている。また、防災組織、防災リーダーの育成や防災訓練など、平常時から防災対策を推進し、地域の危険、

安全性の確認、要援護者マップの作成に努めるなど、あらゆる面で想定される災害対策を検討し、市民の人命を守ることに努めていききたい。



菅原幸一郎
議員

山王まちづくりと行政支援のあり方について

議員 平成二年の店舗法の規制緩和による負の影響は、都市機能だけでなく、経済的な側面からも市民生活に混乱をもたらした。本市も例外ではなく、官

民一丸となって商店街活性化事業に対応してきたにも関わらず、大きな効果を見出せていない。一方で、山王商店街の独自の取り組みは、今後のまちづくりの重要な原点になると思うが、その取り組みの基本コンセプトをどのように考えているのか。

建設部長 本市の中心市街地活性化基本計画では、計画期間を五年間として、期間内に実施する事業とその効果を計る指標及び数値目標を設定して、毎年フォローアップを行い、効果を検証しながら事業を進めていく。山王商店街の取り組みは、十四年に及ぶナイトバザールの成功

に大きな視点があり、まちづくり憲章の策定、まちづくり協定の締結など全国的にも高く評価されている。山王まちづくりプロジェクトでは、市が道空間の再生を担当し、商店街は空き店舗などを活用したテナントミックス事業を担当しており、雪のないバリアフリーな快適空間の実現や、商店街が培ってきた人的資源や情報による相乗効果で、市民の集う快適な空間になることを期待している。



中心市街地の活性化につながる
山王ナイトバザールの取り組み



川村 正志
議員

湯田川大山線の整備について

議員 日沿道温海鶴岡間の工事が、平成二十三年の供用開始に

向け急ピッチで進んでいる。建設事業の見直しにより、清水地内に国道7号から高速道路への直接の乗り降り口ができるため、主要地方道酒田鶴岡線からの交通の流れが変わり、県道湯田川大山線の交通量が増えると思われる。県道西目大山線の交通量の緩和のため、矢馳地内の道路整備を早期に進めるべきではないか。

建設部長 温海インターから清水地区の乗り入れ口までが無料区間で、県道西目大山線を通行する長距離トラックの多くは、県道湯田川大山線を経由して日沿道に移行すると考えている。その対策として、山形県では昨年度より国道7号矢馳交差点から山田跨線橋までのうち、矢馳集落内の一部、延長百二十九・六メートルの区間を全幅八・五メートルに三メートルに拡幅、線形を改良する事業に着手しており、今年度は、用地調査を完了し、九月中旬には用地買収に着手する計画となっている。さらに矢馳集落から山田跨線橋手前の交差点までの区間、矢馳集落から国道7号矢馳交差点までの区間の事業化に向けた調査を行い、日沿道開通に合わせて整備を行う予定になっている。地元を意図を確認しながら県に協力して進めたい。



佐藤 肇男
議員

南部公園へのフェンス設置を

議員 宅地開発をする場合、市主導、または民間主導のどちらで行うにしても緑地の設置が義務づけられているが、義務づけされていない事項が、そこに住んでから問題として出てきている。ごみステーションの設置場所や防犯灯の設置、人の流れ、車の流れにより、以前より近くに住んでいた方々にとっては、大きく環境が変化することを十分予測しながら、宅地開発をしなければならぬ。ほなみ町にある南部公園には、ソフトボールができるようにバックネットがあるが、公園全体には柵が無く、ボールが車道に転がった場合、交通事故の面から大変危険である。町内からも要望が提出されていると思うが、早急に、フェンスを設置してはどうか。建設部長 鶴岡南部公園の広場は、多目的広場として整備されたもので、ソフトボール等の試合ができるグラウンドのつくりにはなっていない。しかし、利用状況により、三塁側からボールが出てしまうことも考えられ

るため、地元からもフェンス設置の要望をいただいている。公園の安全管理の面からも、グラウンドにおけるフェンスの設置については、必要なものと認識しており、今後前向きに検討していきたい。



多目的広場へのフェンス設置は



押井 喜一
議員

公立保育園の今後の方向は

議員 若い人たちが、安心して子を産み育てることのできる環境を整えていくことが、行政の重要な責任と考える。公立保育園の役割、位置付け、民間保育園との機能分担、今後の方向性について伺う。

健康福祉部長 現行法令上は、公立も民間も同じ認可保育園で、児童福祉施設最低基準、保育所

保育指針等に基づき運営することとなっており、保育料も同じであるので、基本的に役割等に違いがあつてはならない。公立と民間の区分というより、地域の実態やニーズに対応した取り組みが必要と考えている。公立保育園の今後の方向については、指定管理者制度を導入し、公設民営方式を基本としていきたい。

畜産経営への支援策を

議員 崩壊の危機にある畜産、酪農経営の状況を踏まえ、市はどのような対策を考えているか。農林水産部長 配合飼料の価格が引き続き高騰しているため、厳しい経営状況が続いている。総合計画でもこれから振興していく三つの柱の一つとして、環境保全型農業の推進を掲げている。有機農産物や特別栽培農産物の生産振興に畜産は不可欠という位置付けで考えており、農業者、農業関係機関・団体と連携して、畜産振興を図りたい。



草島 進一
議員

慶応大学研究所支援の見通しは

議員 市と県を合わせ、毎年七億円の補助金が注がれる慶応大

学研究所は、「公設公営」のようだ。他市研究所のように、大学資金での独立経営が健全だと思いが、自立的運営の見通しは。企画部長 県と市と慶応で平成十八年から二十三年まで五年間の支援協定を結んでいる。本市の振興に重要な役割を果たすものであり、その先も必要な支援を適切に行なう考えである。

砂利採取規制による地下水保全を

議員 月山ダムへの水道水源の切り替えて、市は二十一本の井戸を埋め戻し、現在は七本の井戸を災害時の緊急水源などとして確保している。最近、その水源地周辺で砂利採取が行われているが、水道部は何を判断基準に採取を許可したのか。水道部長 地下水脈の第一不透水層の多くは十メートルを超える深さに存在しており、砂利対策協議会の場で、砂利採取の深さを不透水層に至らない十メートル以内に留めるようお願いしている。

議員 柴崎レポートによれば、掘削場所は水源地の水脈上であり、井戸管の穴の位置は十一メートルで干渉がありうる。この地域での砂利採取規制と、総合的な地下水管理が急務と思うがどうか。水道部長 砂利採取の規制は現在の法律では規定されていない。

《鶴岡市議会の議員定数について》

次期市議選から定数34名に

鶴岡市議会の議員定数については、合併協議により、経過措置として最初の四年間を「三十八名」と定めましたが、昨今の本市財政を取り巻く厳しい現状や全国的状況を踏まえながら適正な議員定数の検討を行いました。その結果、次期市議会議員選挙の定数は、合併協定で定められた「三十四名」に決定しました。

市議会では今年四月から、四党派と正副議長による会派代表者会議を開催して議員定数について検討を行い、「行政面積が東北一の広さになり、また、合併市町村も多い。議員の活動範囲が広がったことを考慮すべき」「オープン選挙と定数削減を一緒にしては、市民の理解が得られない」「合併時に百十一名から三十八名に減っている」「などの意見が出され、法定上限数の「三十四名」とすることを最終確認しました。

なお、議員定数については、本市の地域特性や実情に即した適正なあり方を勘案するとともに、引き続き総合的な見地から検討を行ってまいります。

議会を傍聴

しませんか



議会は、次の方法で傍聴できます。
 ◆議場の傍聴席で傍聴できます。
 （本所四階ロビーに傍聴の受付があります）

◆本所及び各庁舎の市民ロビーのテレビモニターで視聴できます

◆インターネットで中継及び録画放送が視聴できます（市議会のホームページからアクセスしてください）

また、ホームページの「会議録検索システム」では、会議録が閲覧できます

下記の議会日程のうち、「委員会」は、テレビモニター放映やインターネット中継が行われておりませんのでご注意ください。

12月定例会日程

（予定）

- 2日(火) 本会議（開会・提案説明・総括質問等）
 予算特別委員会
 - 4日(木) 本会議（一般質問）
 - 5日(金) 本会議（一般質問）
 - 8日(月) 本会議（一般質問）
 - 9日(火) 総務常任委員会
 - 10日(水) 市民生活常任委員会
 - 11日(木) 厚生文教常任委員会
 - 12日(金) 産業建設常任委員会
 - 18日(木) 予算特別委員会
 - 19日(金) 本会議（閉会）
- ※請願及び陳情の提出期限は、11月26日(水)の午後1時です。
 ※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

編集後記



深まる秋を感じながら、気がつけば今年もあと二か月。厳しい残暑の中で開会した九月議会も、閉会日には肌寒さを感じるほどになりました。

市議会だより第十三号をお届けいたします。今号は、平成十九年度決算議案などを中心に編集いたしました。

議会の審議状況などをわかりやすくお伝えできるよう努めておりますが、ご意見、ご感想などございましたらお気軽にお寄せください。

12月定例会号(2/1発行)の表紙写真を募集します!



◎市民の皆さんに親しまれる議会だよりづくりの一環として、議会だよりの表紙を飾る作品を募集しています。

- 内容 「自然」「伝統行事」「暮らし」「街並み」「イベント」など本市の魅力を紹介できる写真（応募者本人が撮影し、被写体の承諾を得たもの。なお、被写体の持つ諸権利・肖像権等に関して、議会だより編集委員会では一切の責任を負いかねます）
- 応募方法 題名・住所・氏名・電話番号を明記し、郵送または電子メールでご応募ください。
- 応募期間 1月1日～1月15日まで（必着）
- 選考方法 応募が多数の場合、議会だより編集委員会で選考
- 採用発表 採用者には電話で連絡し、ご承諾いただいた上で、写真とお名前を紙面及び市議会ホームページに掲載（モノクロ）いたします。なお、賞品等はありません。著作権は撮影者に帰属しますが、応募された作品は返却いたしません。
- 提出・問い合わせ先 〒997-8601 鶴岡市馬場町9-25 鶴岡市議会事務局
電子メール：gikai@city.tsuruoka.lg.jp



ホームページもご覧ください